※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　工業科（建築系列）

教科	工業	科目	建築実習ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業の課題は、期限までに完成させ提出期限を守るよう計画性をもって授業に出席してください。
授業内で完成できない場合や、欠席の場合は、短縮期間等を利用し課題を完成すること。

2　学習の到達目標

各種建築実務にかかわる実習をとおして建築業界での仕事を学ぶとともに、建築業界に興味・関心を持つ。また、建築技術者としてのリテラシーを学ぶ。
〇各種建築実務に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
〇各種建築技術に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
〇各種建築実務に関する技術の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	CAD・模型に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに，関連する技術が身に付いている。	CAD・模型に関する課題を発見し，建築技術に携わる者として科学的な根拠に基づき技術の進展に対応し解決する力が身に付いている。	CAD・模型に関する技術の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	ＣＡＤ実習	木造住宅の作図 RC 造住宅の作図	a:住宅の作図に用いられる CAD に関する基礎的な知識や技術を身に付け、CAD の意義や役割を理解している。 b:住宅に用いられる CAD に関する基礎的な知識や技術をもとに、身近な建築物を観察し、自ら構想する建築物に適する操作を適切に判断し、選択できる能力を身に付けている。 c:住宅に用いられる CAD に関する基礎的な知識や技術に関心をもち、その習得にむけて意欲的に取り組むとともに、建築製図や建築構造など関連する科目に活用しようとする実践的な態度を身に付けている。	技術の修得状況 課題の達成状況	作業の状況 課題の表現	受講態度の観察 振り返りシート
	模型実習	スチレンボードによる住宅模型製作	a:住宅模型関する基礎的な知識や技術を身に付け、建築模型の意義や役割を理解している。 b:住宅模型に関する基礎的な知識や技術をもとに、身近な建築物を観察し、自ら構想する建築物に適する表現を適切に判断し、選択できる能力を身に付けている。 c:建築模型に関する基礎的な知識や技術に関心をもち、その習得にむけて意欲的に取り組むとともに、模型を用いて建築物を表現しようとする実践的な態度を身に付けている。	技術の修得状況 課題の達成状況	作業の状況 課題の表現	受講態度の観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	造形実習	等角投影法 二点透視図法	a:建築物の立体表現に関する基礎的な知識や技術を身に付け、各図法の意義や役割を理解している。 b: 建築物の立体表現に関する基礎的な知識や技術をもとに、適切な図法を選択・表現し、適切に扱うことができる。 c: 建築物の立体表現に関する基礎的な知識や技術に関心をもち、その習得にむけて意欲的に取り組んでいる。	技術の修得状況 課題の達成状況	作業の状況 作業記録簿	受講態度の観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度